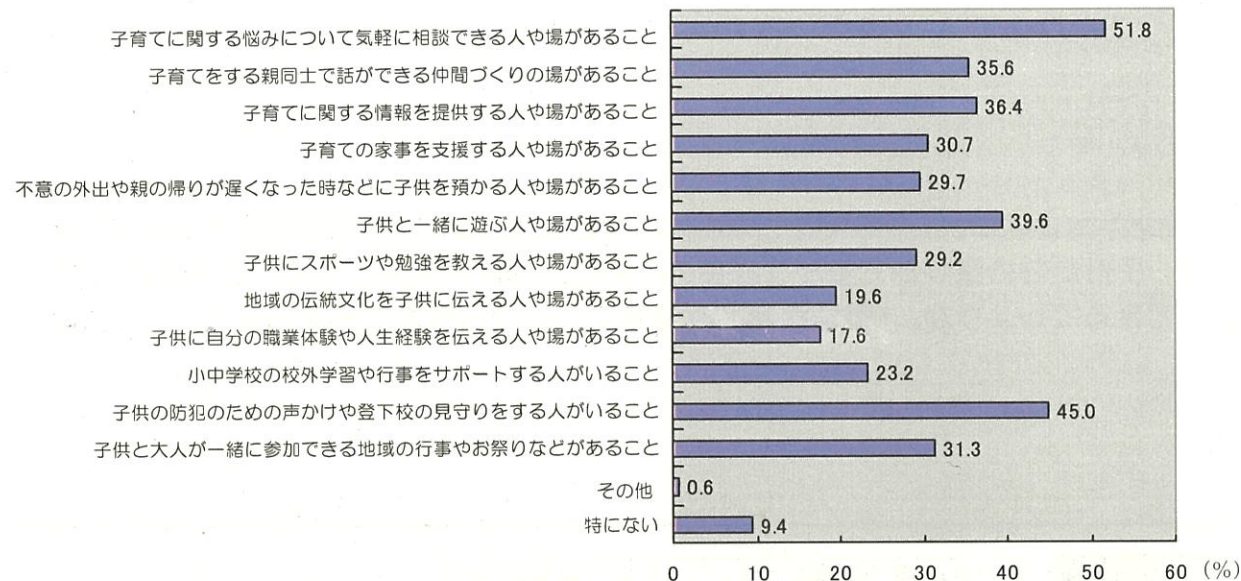


地域で子育てを支えるために重要なこと(複数回答)

※「いつも感じる」と回答した割合(「たまに感じる」「あまり感じない・全く感じない」の割合は省略)



文部科学省委託 株式会社インテージリサーチ 令和2年度「家庭教育の総合的推進に関する調査研究」より

地域で子育てを応援しましょう

生活体験やコミュニケーションの不足、人間関係の希薄化などが、子供はもとより大人も含めた現代社会全体の課題となっています。これらの解決のためには、学校や個々の家庭教育に任せるだけでなく、「地域の大人」の力が必要です。地域の大人との交流は、子供たちにとって、豊かで多様な人間関係を体験できる重要な機会となります。また、子供たちに関わる大人にとっても、地域に貢献しているという満足感ややりがいを得られるとともに、子供から元気ももらえます。

地域における取組事例



地域における体験活動指導



登下校の見守り



本の読み聞かせ



授業支援

放課後子ども教室



放課後や週末に子供たちが安全・安心に過ごすことのできる居場所をつくるため、公民館や小学校の余裕教室等で、地域の方と子供たちが、学習やスポーツ、文化活動、交流活動などを行っています。

学習を振り返りましょう

自分の中で、分かったこと、考えが変わったことがあれば、書いてみましょう。

お問合せ：〒730-0052 広島市中区千田町三丁目7-47 広島県立生涯学習センター  
TEL：082-248-8848 FAX：082-248-8840 E-mail：sgcshinkou@pref.hiroshima.lg.jp

教材番号

24

「再び子育て、そして子育て」期(子育て支援期)  
『「いまどきの親は」なんて言わない』編  
(中高年などの子育て支援者を対象としたプログラム) その3



寄って話して  
自ら気づく

「親の力」をまなびあう学習プログラム

かかわってみて・・・

～地域の大人ができること～



イラスト：うじな かずひこ

若い人たちが子育てをしている様子をみかけたとき、「ああ、私の子供にもこんなころがあったよな」とか「いまどきの子育てって、どうなっているのかしら」などと感じたことはありませんか。

親の気持ち・子の気持ち、そして親子を取り巻く環境を見つめながら、今の子育てについて、いっしょに考えてみませんか。

広島県教育委員会



思い出しましょう

あなたが子供のころは、どんな場所で、どんな遊びをしていましたか。

エピソードを読みましょう

ヨシオさんは、地域の子供たちの安全確保に協力するため、小学校の登下校の見守り活動に参加しています。子供たちの明るい笑顔に元気をもらい、やりがいを感じる毎日です。

ある日の午後、ヨシオさんが近くの商店まで買い物にでかけたところ、いつもあいさつを交わしている近所の小学生たち数名が、店の前に座り込んで何かしているのに気が付きました。よく見ると、みんな携帯型のゲーム機で黙々と遊んでいます。

「運動不足の子供が増えている」という新聞記事を思い出したヨシオさんは、子供たちに「おーい！子供は風の子なんだから、みんなで元気に遊びなさいよ！」と声をかけました。



すると、子供の一人がゲームの手を止めて、ヨシオさんにこう訴えました。

「じゃあ、おじちゃん。どうやって遊んだらいいのか教えてよ。駐車場で石けりしてたら危ないって怒られるし、公園でサッカーしたくても、ボール遊びは禁止なんだって。学校の校庭は放課後入れないし、家にいたら子供は外で遊べってお母さんに追い出されるしさあ…」

ヨシオさんは返答に困ってしまって…。

考えましょう、出し合いましょう

① 今の子供たちはどんな場所で、どんな遊びをしているのでしょうか。

② あなたがヨシオさんなら、子供たちにどのように答えますか。

③ 子供たちの健やかで豊かな成長のために、地域の大人として、どんなことができるでしょうか。「参考資料」を参考にしながら考えてみましょう。

参考資料 子どもの育つ環境についての不安（複数回答）

